



スプレーアートで地域を元気に

3月6日、中島商店街で「なかしまアート広場」が実施されました。これは、コロナ禍で思うように学校生活が送れなかった児童に思い出を作ってもらい、同時に、アートで地域を元気にしようと企画されたもの。参加した中島小学校の5、6年生8人は、市内を中心に活動するスプレーアーティストの長野尊さんの指導のもと、同商店街のシャッター4枚に「中島祇園」の大蛇山を描きました。6年生の塩塚柔夢君は、「小学校の最後に良い思い出ができた。絵の前を通る度にみんなに自慢したい」と笑顔で話してくれました。

CONTENTS	ページ
福岡県知事・柳川市長選挙 予算、コロナワクチン情報	2-3 4-7
宗茂再封400年イベントほか やなば、市民アンケート結果	8-9 10-11
固定資産税の評価替えほか	12-13

発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kouhin@city.yanagawa.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。



【上】城郭・古建築模型作家の島充さん。平成24年から本格的に活動を始め、現在は企業や自治体から依頼された制作も請け負っている【左上】縮尺1/150の「熊本城本丸模型」。制作期間は1年以上で、その大きさは四畳半にもなる【左】縮尺1/150の「熊本城飯田丸五階櫓被災模型」

柳川探求

No.13

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。

全国の伝統建築物を模型で再現 柳川城制作も見据え研究続ける

島充さん (鷹ノ尾・38歳)

日本全国の城などを本物そっくりに模型で再現する城郭・古建築模型作家の島充さん。150分の1サイズの「熊本城本丸模型」は、その精密さと完成度の高さから熊本市長から表彰を受けるほどです。

鷹ノ尾の仁業寺に生まれた島さん。子どものころから日本の伝統建築物が大好きで、絵を描いたり図面を引いたりしていたそうです。「どんどん熱中して、ペーパークラフトや木製模型制作に明け暮れていました」と幼少期を振り返ります。

島さんの模型づくりは、資料収集から始まります。現存していない建物は、写真や当時の設計図などの資料を徹底して読み込むそうです。「瓦の数で寸法の高さを必ず数えます。」と話す島さん。資料から骨格となる図面を作り、模型を組み立てます。制作の過程で学術的な新発見をすることもあるそうです。

制作は1ミリ以下の世界 その技術に注目が集まる

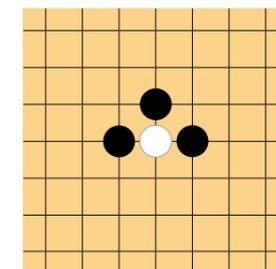
縮尺150分の1の場合、5寸(約

15cm)が1ミリ。ミリ単位の模型を自在に操る技術は注目を集め、企業や自治体から制作依頼が相次いでいます。そんな島さんの最新作品集「島充の城郭模型紀行」が全国の書店で発売中です。

島さんは現在、被災した熊本城を制作している真っただ中。完成した作品は、4月26日から始まる天守閣内部の一般公開に合わせて、熊本城内に展示されます。最後に柳川城の制作について尋ねると「資料は揃っているので時期が来たら必ず作りますよ」と力強く話してくれました。

柳川観光大使 大淵盛人九段の囲碁入門

右図は、黒が白を囲もうとしています。これは相手の石を完全に囲む一歩手前の状態で、これを「アタリ」と言います。囲まれた石は取られてしまいます。**【今月の問題】**白の番です。白は取られないようにどこに打ちますか。



自分宛に郵便物が届いた。その郵便物には料金不足の紙が貼ってある。受け取るには不足分の料金を払うか、受け取らずにそのまま返却するかを選択するように書いてある。迷った末不足分を支払って封を開けた。何度見ても中には粗品のタオル以外、何も入っていないかった。(規之)

編集後記